

令和3年6月7日

各中学校卓球部顧問 様
各少年団 代表 様

函館卓球協会
会長 小笠原 勇人

道南カデット卓球大会（兼 全道カデット予選会）の開催について

表記の大会を下記の要領で開催します。お忙しいとは存じますが、多数の参加を期待し、ご案内致します。

記

- 1 日時 令和3年7月24日（土）
男子ダブルス（決勝まで） 男子シングルス（決定までまたは17時まで）
- ・男子ダブルス及び中2男子シングルス
8：50 検温 9：20 試合開始予定
 - ・中1男子シングルス
12：40 検温 13：00 試合開始予定
- 令和3年7月25日（日）
女子ダブルス（決勝まで） 男女シングルス（決勝まで）
- ・女子参加選手
8：50 検温 9：20 試合開始予定
 - ・勝ち残った男子選手
12：40 検温 13：00 試合開始予定
- 2 会場 函館アリーナ（サブアリーナ）
- 3 種目 男子ダブルス（中2以下）
女子ダブルス（中2以下）
中1男子シングルス（13歳以下男子シングルス）
中1女子シングルス（13歳以下女子シングルス）
中2男子シングルス（14歳以下男子シングルス）
中2女子シングルス（14歳以下女子シングルス）
- 4 主催 函館卓球協会
- 5 試合球 日本卓球協会指定の硬式球（ホワイト・プラ・40mm）
- 6 ルール 現行の日本卓球規則による
- 7 参加料 シングルス1人600円、ダブルス1組1000円
- 8 申込み先 〒049-2311 茅部郡森町上台町326-1
森町立森中学校内 村上 貴則 宛
080-3294-1481(村上)
メールアドレスmor i-c@hokkaido-mor i. ed. jp
- *エクセルで添付して頂くと助かります。
名前は、名字だけでOKです。
同じ名字は、下の名の1文字だけ記入して下さい。
(電話・FAXでの申込みはご遠慮下さい)
- 9 締め切り 令和3年7月9日(金)
期日厳守をお願いします
- 10 その他・コロナウィルス蔓延防止のため、無観客とします。
・別紙のコロナウィルス感染予防対策のプリントに記入し、大会当日の朝に持参してください。
・アリーナ入口にて検温・プリントの回収を行います。
・試合はユニホーム・短パンで行います
・全道大会は9月3日（金）～5日（日）に苫小牧市で開催される予定です。
例年の全道参加可能数は、ダブルス各種目8組、シングルス各種目16名が道南代表でしたが、コロナの関係で現時点ではダブルス各種目4組、シングルスは各種目10名を予定しています。（6月7日現在）

参加費は当日で構いません
※道南新人戦（団体戦全道予選会）の日程です。
令和3年11月20日（土）個人戦（シングルスのみ） 函館アリーナ（サブ）
令和3年11月21日（日）団体戦 函館アリーナ（サブ）

令和3年 月 日

参加予定選手及び保護者の皆様へ

函館卓球協会

連絡先および健康状態申告のお願い

新型コロナウイルスの流行予防のため、「道南カデット卓球大会」参加にあたって、以下の情報提供をお願いします。ご記入の上、大会当日に各学校顧問、各チームの責任者にお渡しください。（チーム責任者の方は受付時に、大会事務局へ提出してください。）

1 選手氏名

2 所属

学校

4 現在の年齢

歳

3 住所

5 連絡先電話番号

【大会2週間前における健康状態など】○をつける

- | | |
|---|-------|
| 1 平熱を越える発熱（おおむね37度以上） | （有・無） |
| 2 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状 | （有・無） |
| 3 だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難） | （有・無） |
| 4 嗅覚や味覚の異常 | （有・無） |
| 5 体が重く感じる、疲れやすい等 | （有・無） |
| 6 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無 | （有・無） |
| 7 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる | （有・無） |
| 8 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある | （有・無） |

当日の朝の体温 _____℃

令和3年 月 日

上記の大会に参加することを承諾します。

保護者名 _____

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

函館卓球協会 2021.3.20 改定版

(適宜改訂予定)

大会開催にあたり、日本卓球協会等のガイドラインに沿って実施し、参加者が安全・安心に参加できるよう最大限の感染防止に努めます。参加される選手やチーム責任者の皆様におかれましては、以下の件について了承、ご協力願います。

なお、ここに述べる感染症防止対策は、現段階で得られている知見に基づくものであり、今後の流行状況の変化に応じて随時変更する場合があります。

【大会を開催するにあたって】

- 1 各大会は、ここで定める感染症対策ガイドラインに準拠して開催する。
- 2 各大会は、各会場が定める上限人数を厳守し開催する。
- 3 ダブルスや団体戦を実施する場合は、地域の感染状況を鑑みながら、「飛沫感染」及び「接触感染」対策を十分に講じる。
- 4 当面の間、大会は無観客とする。
- 5 「健康状態申告書」の記載に該当する場合は、参加を見合わせることを事前に周知する。
- 6 大会当日、会場への入場の際に全員を検温する。
- 7 進行席も密を避けるように工夫し、口と鼻をしっかりと覆うマスクを着用すること。
- 8 会場入り口を開けるなど、十分な換気を行う。
- 9 卓球台は十分な間隔を開けて設置する。
- 10 卓球台、ボール、カウンターの消毒をする。(各ゲーム終了後)
- 11 予備のマスクを必ず準備する(大会事務局)

【大会参加にあたって】

- 1 同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる人がいる場合は、参加や(観戦)を控えること
- 2 同居家族や身近な知人に、大会開催日より過去14日以内に、外国からの入国者がいた場合は、チーム責任者を通じて、大会事務局へ連絡をすること。
- 3 大会当日の朝に、必ず検温を行ってこること。なお、会場への入場の際に大会役員が全員を検温する。
- 4 大会開催中はマスクを持参すること。
- 5 試合をしている選手以外は、口と鼻をしっかりと覆うマスクを着用すること。ただし、熱中症予防のため、人と人との距離があり、声を発しない状況であれば、積極的にマスクを外すことを推奨する。
- 6 こまめに、手洗いを行うこと。また、水分補給を行うこと。
- 7 参加者どうし、可能な限り2m以上の間隔を保つこと。(入館の際も厳守すること)
- 8 体育館に入館したら、設置してあるアルコール消毒液で「手指の消毒」を行うこと。
- 9 大きな声での会話や応援は慎むこと。応援は拍手ですること
- 10 個人のタオルを持参し、汗を拭く時は他の人のタオルを使用しないこと
- 11 飲食をするときは、手を洗い、消毒すること。
- 12 他の人の昼食や飲料、持ち物に手を触れないこと。

- 13 飲みきれなかった飲料や食べきれなかった食品は持ち帰ること。
- 14 観客席では、隣り合った座席には座らないこと。(ただし、座らない座席に荷物は置いても良い)
- 15 大会期間中、大会事務局が決めた感染防止のための措置を遵守すること。
- 16 「発熱」「体調不良」「熱中症」等を感じた参加者は、速やかに本部席に来て、大会事務局の指示に従うこと。
- 17 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルスに感染症を発症した場合は、チーム責任者を通じて大会事務局へ必ず連絡をすること。
- 18 ごみは、ビニール袋に入れて密閉して持ち帰ること。

【選手の皆さんへ】

- 1 小中高校生の大会参加に当たっては、チーム責任者に『保護者同意書（健康状態申告書）』を提出すること。
- 2 大会当日の朝に、必ず検温を行い、検温の結果を『健康状態申告書』に記入し、チーム責任者に渡すこと。
- 3 『健康状態申告書』に記載されてある内容に該当するものがあつた場合は、自主的に参加を見合わせる事。
- 4 参加選手が観客席を利用する場合は、間隔を十分に開けて利用すること。
- 5 自分の試合が終わつた選手（各チームで解散した選手）は、観戦せずに帰宅すること。

<試合中の注意事項>

- 1 ゲームごとのコートチェンジは一切行わない。
- 2 ラケット交換は、ラケットを交換せずに、お互いのラケットを見せるだけにする。
- 3 対戦相手や審判とは握手せず、礼（おじぎ）とする。
- 4 卓球台の上で手を拭いたり、ボールやラバーに息を吹きかけたりしない。
- 5 シューズの裏を手で拭かない。
- 6 ゲーム間のアドバイスは必要最小限として、ベンチコーチと接近しすぎないこと。
- 7 タオルを使用できるのは、本来、6本ごとだが、汗が卓球台や床に落ちそうなときは、適宜使用してもかまわない。
- 8 試合場に出入りの際は設置した消毒液で手指を消毒すること。

【チーム責任者へのお願い】

- 1 『健康状態申告書』を提出した選手のみ、参加を許可すること。
- 2 『健康状態申告書』は、大会終了後2週間は、大会事務局で保管する
- 3 小中高校生は、『校長許可書』またはそれに準ずるものを作成し、許可を事前にもらうこと。
- 4 参加選手には事前に『**健康状態申告書**』を配付し、必要事項を記入した上で、大会当日に大会事務局にまとめて提出すること。
- 5 「感感染症対策ガイドライン【大会参加にあたって】【**選手の皆さんへ**】【**試合中の注意事項**】」を、チーム責任者が選手に配付し、事前に指導すること。
- 6 ミーティングは、必要最小限の時間内ですること。